

# 名医の郷 養父市が贈る やぶ医者大賞実施要領

## 1 趣旨・目的

若手医師の育成、医療過疎地域の医師確保及び地域医療の発展に寄与することを目的とする。

※ 賞の名称については、「やぶ医者」の語源が「養父にいた名医」であったことにちなみ命名するもの。

※ 若手医師を育てることを目的とすることは、地元（養父市八鹿町宿南）で私塾「青谿書院」を開き、知識と実行力を兼ね備えた人材を育成した江戸時代の儒学者である池田草庵（兵庫県養父市出身）にちなむもの。

## 2 主 催

養父市

## 3 後 援（申請中）

公益社団法人 日本医師会、公益社団法人 全国国民健康保険診療施設協議会、公益社団法人 全国自治体病院協議会、関西健康・医療創生会議、認定 NPO 法人日本ホルモンステーション、公益財団法人 健康加齢医学振興財団、一般社団法人 兵庫県医師会、NPO 法人 但馬を結んで育つ会、兵庫県市町診療施設運営対策協議会、兵庫県、養父市医師会、公立八鹿病院、一般財団法人医療文化経済グローバル研究所

## 4 対象者

医療過疎地域の病院又は診療所（民間含む）に通算 5 年以上勤務する令和 6 年 4 月 1 日時点で 50 歳以下（昭和 48 年 4 月 2 日以降生まれ）の地域医療に貢献している医師及び歯科医師。

## 5 応募方法

団体等による推薦が必要。

所定の応募用紙に、必要事項を記入の上、資料（顔写真 1 枚、活動の内容のわかる写真・新聞記事等それぞれ 3 点程度）を添えて、令和 6 年 5 月 24 日（金）までに事務局へ郵送すること。

なお、今回受賞されなかった候補者は、以後 3 年間 候補者名簿に登載し、毎年、候補者本人の意志確認をした上で、今後の審査の対象とする。

※ 提出いただきました写真は必要に応じて報道機関等へ公開しますので、個人情報へのご配慮をお願いします。

## 6 審査

審査の時期 令和6年6月22日(土)

審査員(令和5年度) ※50音順

岡山 雅信(神戸大学大学院地域医療教育学部門特命教授)

小谷裕都子(公立八鹿病院組合南但訪問看護センター所長)

永井 良三(自治医科大学学長・東京大学名誉教授)

中尾 一和(京都大学大学院医学研究科メディカルイノベーションセンター特任教授・  
京都大学名誉教授)

中野 穰(社会福祉法人関寿会 はちぶせの里統括管理者)

西村 正樹(公立八鹿病院院長、滋賀医科大学神経難病研究センター 教授・図書  
館長)

枚田 一広(養父市医師会会長)

平田 淳一(兵庫医科大学救急・災害医学講座主任教授)

## 7 賞と副賞

表彰者 2名以内

賞状、記念品及び副賞 50万円

## 8 表彰式

期日 令和6年11月16日(土)

会場 養父市立ビバホール(養父市広谷250)

内容 表彰式及び地域医療などに関する講座など

## 9 その他

- ・受賞された方は、表彰式に出席し、15分程度講演等が必要。
- ・講演料については、副賞に含むものとし、支給しない。ただし、旅費及び宿泊分は、必要に応じ別途支給する。(最大2泊まで)

### 養父市(但馬地方)へのアクセス

コウノトリ但馬空港を利用いただければ、東京(羽田)から最短2時間です。

但馬空港～大阪(伊丹)空港間を1日2往復しています。

遠方の方には大変便利です。

なお、但馬空港への送迎は責任を持って行います。